



令和4年度 当初予算の主要施策

「人が行き交い 自然の恵みあふれる 住みよいまち」の実現に向けて

令和4年3月
和歌山県紀の川市

目次

(1) 予算編成の基本的な考え方	1	③産業・交流	
(2) 予算額の比較・推移	2	1.新規就農者の育成・確保	13
(3) 主要施策について	3	2.新たな加工商品開発の促進	14
①安全・安心		3.商工業の振興	15
1.新型コロナウイルス感染症対策の推進	3	4.紀の川はっさくプロジェクトの推進	16
2.災害情報伝達手段の拡充	4	5.市内企業の人材確保と市内就職の促進	17
3.ため池の防災強化	5	6.地域経済の活性化対策	18
4.交通安全対策の推進	6	7.地域資源を活用した観光振興	19
5.市民の健康づくり支援	7	④都市基盤・生活環境	
6.高齢者の介護予防と健康づくりの推進	8	1.京奈和関空連絡道路の整備促進	20
②子育て・教育		2.ごみ収集サービスの充実・効率化	21
1.妊娠期から育児期にわたる切れ目のない子育て支援	9	3.水道水の安定的な供給	22
2.学校教育環境の充実	10	4.市道の整備・充実	23
3.誰もが利用しやすい図書館づくり	11	5.利用しやすい公共交通の構築・維持	24
4.市民のスポーツ・健康の拠点づくり	12	⑤地域づくり・行政経営	
		1.自治体DXの推進	25
		2.シティプロモーションの推進	26
		3.地域活性化の推進	27
		4.定住人口増加策の推進	28
		5.移住支援策の充実	29
		6.将来を見据えた行政経営の推進	30

▶事業区分（新規・拡充）の表示について

新 新規事業→新たに開始する事業 **拡** 拡充事業→従来の事業内容を充実させる事業



予算編成の基本的な考え方

- ① 2月末に市長選挙が執行されたことから、いわゆる「**骨格予算**」として予算編成
⇒継続性が必要とされる取組や、計画等に基づき進展が必要な取組は、新規・拡充事業であっても当初予算に計上し、**市政運営の空白をつくらぬよう配慮**
- ② 令和4年度は、「第2次紀の川市長期総合計画」の**前期5カ年基本計画の最終年度**計画で掲げる市の将来像「人が行き交い 自然の恵みあふれる 住みよいまち」の実現に向けて、**前期の仕上げを行うべく、計画に基づく5つの政策を着実に推進する予算**を編成
- ③ 喫緊の課題である**新型コロナウイルス感染症への対応については適切・迅速に対応**
⇒市民がスムーズにワクチン接種できるよう**集団接種・個別接種の両体制**を整備
⇒国の臨時交付金を活用し、令和3年度補正予算ですでに予算化した「**未来応援券事業**」は、その事業費の全額を令和4年度に繰越。当初予算に計上した事業と一体的に、コロナ禍で影響を受ける市民生活を支援
- ④ 今後、**市長の政策判断を踏まえて組み込む事業**等を中心とした、いわゆる「**肉付け予算**」を編成予定



予算額の比較・推移

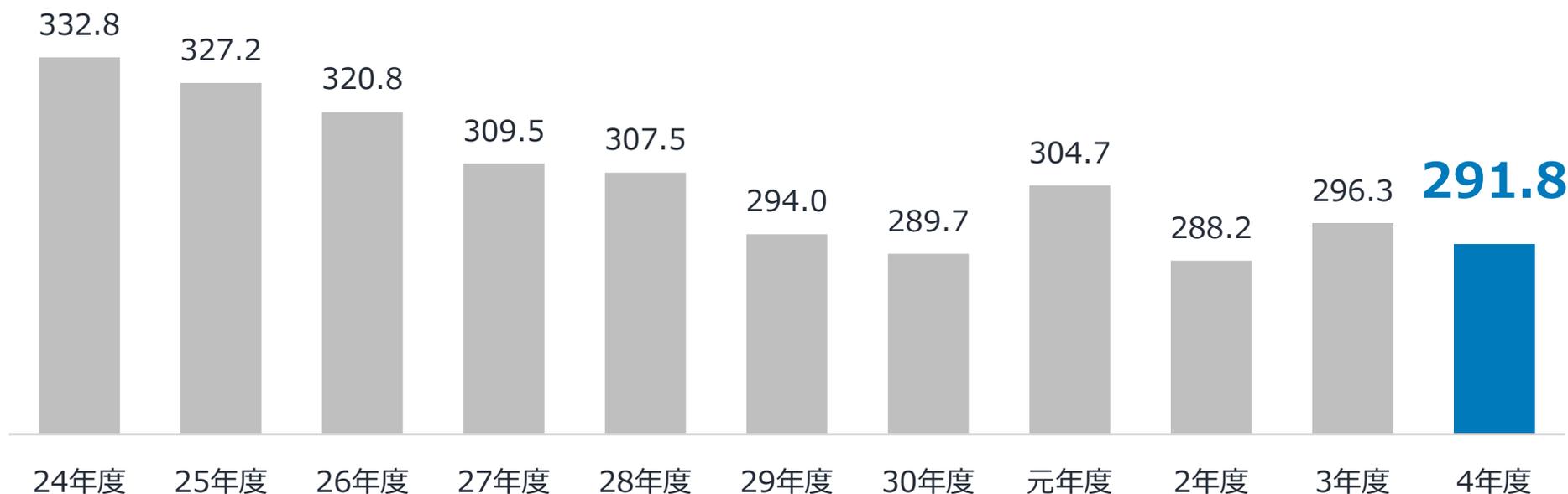
当初予算額の比較

会計	令和4年度	令和3年度	比較（対令和3年度比）	
一般会計	291億8,000万円	296億3,000万円	△4億5,000万円	△1.5%
特別会計	169億2,010万円	164億8,886万円	4億3,124万円	2.6%
公営企業会計	54億4,526万7千円	53億7,437万4千円	7,089万3千円	1.3%
合計	515億4,536万7千円	514億9,323万4千円	5,213万3千円	0.1%

一般会計当初予算額の推移

(単位：億円)

過去最大規模





①安全・安心（安心して健やかに暮らせるまち ～ともに支え合おう～）

新型コロナウイルス感染症対策の推進

市民が新型コロナワクチンを安全、かつ円滑に接種できるよう市内医療機関と連携し、万全の体制を整えます。また、市民の感染リスクの低減を図るための取組を推進します。

1 ワクチン接種体制の整備 300,941千円 <健康推進課>

- **集団接種と個別接種を併用**し、市民の接種が的確かつ迅速に進むよう体制を整備

<接種体制>

区分	場所	開設日	開設期間
集団接種	打田保健福祉センター (本庁舎南別館)	土・日曜日	4月～9月
個別接種	市内医療機関	医療機関 診療日	4月～9月

<接種申込>

コールセンターでの電話申込やWEB申込に加えて、市の公式  **LINEアカウントから申込が可能**



▲集団接種会場



2 市民活動継続の支援 **新** 3,886千円 <生涯学習課>

- 粉河ふるさとセンター大・小ホールに**Wi-Fi設備を整備**。コロナ禍で需要の高まったWEB会議開催の通信環境を整備し、市民や市民団体が活動継続できるようサポート
- 各地区公民館に**Wi-Fiスポットを設置**することで来館者へのサービス向上

3 外出抑制・密集緩和の促進

- オンライン上で行えるサービスや、密集を回避できるサービスを積極的に提供
 - ▶ **証明書等のオンライン申請システム** **R4.1月開始**
自宅などからスマホで住民票など7種類の証明書の申請が可能（詳細はP25参照）
 - ▶ **公共施設オンライン予約システム** **R4.4月開始**
スポーツ施設などの利用予約をオンラインで行うことができるシステムの運用を開始（詳細はP25参照）
 - ▶ **移動図書館の本格運行** **R4.3月開始**
車両による移動図書館を運行（詳細はP11参照）

①安全・安心（安心して健やかに暮らせるまち ～ともに支え合おう～）

災害情報伝達手段の拡充

様々な年齢層や情報入手手段が異なる市民に対して、各種の情報発信媒体を活用して、必要な情報を正確、迅速に伝達できるように情報発信手段の拡充に取り組みます。

1 戸別受信機の貸出 **拡** 6,578千円 <危機管理消防課>

- 防災情報の入手が困難で、視覚や聴覚に障害がある要支援者を対象に、防災行政無線を自宅で受信することができる**戸別受信機を貸出**

<概要>

- ・貸出予定台数 200台



▲貸与予定の戸別受信機

2 道路冠水情報の発信 **新** 25,000千円 <道路河川課>

- 豪雨時に道路が冠水する恐れがあるエリアに、**水位センサーを設置**し、危険水位に達した場合に赤色灯を点灯させる仕組みを新たに構築
- 市民向けにインターネット上で冠水状況（水位）を確認できる仕組みを併せて提供する予定

<設置予定箇所>

- ・桃山町調月（2箇所）
- ・貴志川町前田（1箇所）
- ・貴志川町丸栖（2箇所）

<運用イメージ>

水位上昇を
監視

現地



遠隔装置で水位をモニタリング

市庁舎



水位をグラフで確認

危険を
情報発信



音と光で周囲に危険を周知



関係者にメール配信

①安全・安心（安心して健やかに暮らせるまち ～ともに支え合おう～）

ため池の防災強化

市内には多数のため池があり、主要産業である農業を支える一方で、地震発生時等においては、堤体の決壊等による大規模な浸水被害が想定されるため、「ため池」の防災対策を進めます。

1 ため池の機能廃止 48,242千円<農林整備課>

- 今後使用しないため池を貯水できない状態にする「**機能廃止**」を実施<事業実施箇所>
 - ・びわの池（下鞆淵）
 - ・箕谷池（桃山町最上）



▲機能廃止後のため池

2 ため池の防災体制強化 53,704千円<農林整備課>

- 「防災重点農業用ため池」を対象に、堤体や洪水吐などの「**劣化状況評価**」と「**豪雨耐性評価**」を実施
 - ・令和3年度からの4ヵ年計画で順次、評価を実施中
- 評価の結果、防災工事の必要性があるため池については改修の推進計画を策定



▲劣化状況評価



▲豪雨体制評価

3 ため池改修の実施 28,189千円<農林整備課>

- 日常の維持管理を行いやすくするとともに、地震等によるため池決壊被害を未然に防ぐため、**計画的にため池を改修**
 - ・市による改修：2箇所
 - ・県営事業による改修：14箇所



▲堤体の改修（整備前・整備後）





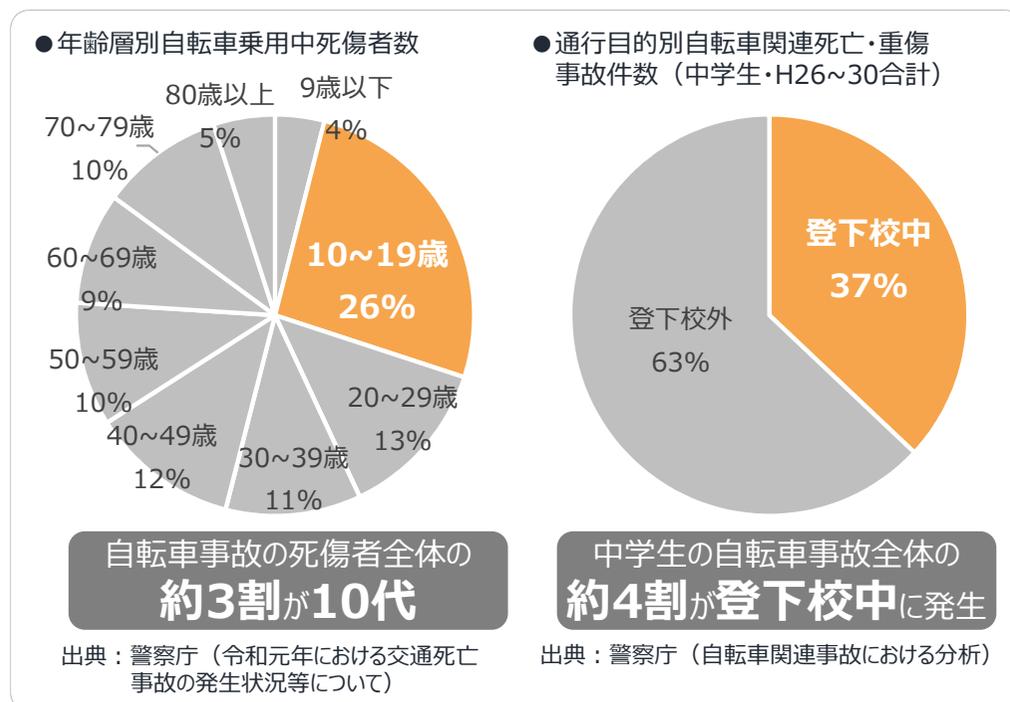
①安全・安心（安心して健やかに暮らせるまち ～ともに支え合おう～）

交通安全対策の推進

交通安全に対する啓発を進めるとともに、子どもの交通安全対策をはじめとした市民の交通安全対策を進めます。

① 通学用ヘルメットの変更 3,235千円＜教育総務課＞

- 通学時の交通安全対策として中学生に配布している通学用ヘルメットを、**サイクリング用のタイプ**に変更
- 登下校中はもとより、登下校外での着用を促すことで、さらなる安全対策を推進



② グリーンベルトの整備 8,000千円＜道路河川課＞

- 通学時の安全性を高めるために、歩道が整備されていない道路の路側帯を緑色に着色する**グリーンベルトを整備**
- 5年計画（令和2~6年度）で整備を実施中





①安全・安心（安心して健やかに暮らせるまち ～ともに支え合おう～）

市民の健康づくり支援

市民が正しい生活習慣の定着を図り、健康づくりを継続できるよう支援を行います。

県内初

1 運動習慣定着の支援 **新** 3,000千円〈国保年金課〉

- 国民健康保険加入者で、特定保健指導等において生活習慣の改善を求められた方が、生活習慣病重症化の予防のために、スポーツジムなどに入会し**運動を開始・継続するために必要となる経費を支援**

<補助対象要件>

- 1.国民健康保険の加入者
- 2.次のいずれかの状態にある方
 - ▶特定保健指導において、当該年度中に「動機付け支援」または「積極的支援」の判定が出されている方
 - ▶市の国保保健事業において、「生活習慣改善の必要性あり」と判断された方
- 3.国保保健事業における保健指導において、医療専門職の面談による保健指導を当該年度中に1回以上終了した方

<補助対象経費>

スポーツジムなどへの入会金・月会費（3か月分）の実費額

<補助額>

3万円上限（1人1回のみ）

特定保健指導

- ・動機付け支援
- ・積極的支援

保健事業

- ・生活習慣改善の必要ありと判断

保健指導

- ・医療専門職による面談

運動開始・継続

（スポーツジムなどに入会）



補助金による支援（入会金・月会費）

①安全・安心（安心して健やかに暮らせるまち ～ともに支え合おう～）

高齢者の介護予防と健康づくりの推進

健康で元気な高齢者を増やすため、身近な場所で地域の住民が主体となった介護予防事業を実施します。

1 てくてく体操の普及推進 16,641千円〈高齢介護課〉

- 身近な地域の集会所での市民主体の運動活動を支援
- リハビリ専門職と連携、ご当地体操「紀の川歩（てくてく）体操」を普及し、市民自らが気軽に体操できる環境づくりをサポート



▲てくてく体操の様子

2 フレイル予防の推進 2,070千円〈高齢介護課〉

- 心身の活力が低下した状態となる「フレイル」を予防するため、栄養・お口の健康・社会参加に機能低下がみられないかをチェックする「フレイルチェック」を実施
- 地域でフレイルチェックのサポートを行うフレイルサポーターとの協働による「市民のための市民によるフレイルチェック」を推進



▲フレイルサポーターのみなさん

3 移動カフェの実施 〈高齢介護課〉

- 移動販売事業者と連携協定を締結し、事業者が地域の集会所等を回り、飲料を無料で提供する「移動カフェ」を開設、加えて食品などの販売により生活支援も実施
- コロナ禍で外出を控える高齢者等に短時間の集いの場を提供することで、地域の「つながり」や「見守り」の強化、及び活性化につなげる



▲移動カフェの様子



②子育て・教育（育み学ぶ元気なまち ～ともに育み生涯学ぼう～）

妊娠期から育児期にわたる切れ目のない子育て支援

子育て世代包括支援センター（はぐくみサポート紀の川）が中心となり、妊娠期から育児期にわたる切れ目のない支援を行うことで、子育てしやすい環境づくりを進めます。

1 多胎妊娠の妊婦健診支援 **新** 250千円〈こども課〉

- 多胎妊娠の場合、単胎妊娠の場合よりも多くの妊婦健診が推奨されており、受診に伴う経済的負担が大きくなることから、**追加受診に要する費用を新たに助成**

〈助成内容〉

助成額：上限5,000円/回（最大5回まで助成）

（※単胎妊娠の場合、通常24回分の健診を支援）

2 育児用品の支給 4,051千円〈こども課〉

- 新型コロナウイルス感染症の拡大などで、日常生活が制約される中で出産を迎えた方を支援するため、**育児用品を支給**（申請受付後、自宅に配送）

〈支給用品〉

紙おむつ等（生まれた子ども一人につき1万円程度）

〈子育て支援策の体系〉



※緑色の取組については、令和4年度から新たに拡充する取組



学校教育環境の充実

少子化による児童生徒の減少により生じる課題への対応を進めるとともに、安全・安心で快適な学校教育環境の整備を進めます。

1 学校再編に向けた「基本計画」策定 **新** 3,157千円＜教育総務課＞

- 少子化の影響等により、児童生徒が減少する中、学校規模による子どもの学習環境・条件に不均衡を生じさせないよう、望ましい学校の規模の確保、配置を実施
- 令和4年度は、令和3年度に実施した保護者・地域住民アンケート結果をもとに検討委員会からの答申を踏まえ、**学校再編に向けた「基本計画」**を策定（令和5年度以降は、基本計画に基づく具体的な「実施計画」を策定予定）

2 学校施設長寿命化の推進 299,683千円＜教育総務課＞

- 安全・安心で快適な教育環境を提供するため、令和2年度に策定した「学校施設等長寿命化計画」に基づき、学校施設の**長寿命化対策**を実施

<令和4年度対象校>

小学校：池田・粉河・中貴志

中学校：打田・荒川・貴志川

- 「田中小学校」の将来の改築に向けた調査業務を実施

<主な調査内容>

- ・敷地の現況・実態把握
- ・関連する法規の把握・チェック



▲学校施設等長寿命化計画（令和3年3月策定）



▲調査業務を実施する「田中小学校」



②子育て・教育（育み学ぶ元気なまち ～ともに育み生涯学ぼう～）

誰もが利用しやすい図書館づくり

従来からある「河北図書館」「河南図書館」に加え、移動図書館の運行により、誰もが気軽に利用しやすい図書館づくりを進めます。

1 移動図書館の実施 11,590千円〈生涯学習課〉※再掲

<車両概要>

- 車両愛称 : かささぎ号（市民から愛称を募り、選定委員会で選考・決定）
- 車両規格 : 2トントラック（3名乗り）
- 積載図書数 : 最大2,000冊程度を積載
- 車両イメージ : 右記のとおり

<運行概要>

- 運行スケジュール : 月・木運休（土・日・祝は運行）
- 業務内容
 - ・図書の貸出・返却
 - ・予約（貸出も可）
 - ・読みたい本のリクエスト
 - ・図書館利用券の発行・更新
 - ・その他、本に関する問い合わせや調べ物の相談対応
- 運行ルート
 - ・現在ある2つの図書館から遠方となる粉河・那賀・桃山地区を巡回
 - ・停車スポットは支所、保育園、特別養護老人ホームなど

車体イメージ



車体全体カラーは
カササギの羽の色をイメージ
したネイビーブルーカラー。
アクセントにホワイトベージュ。

<愛称の由来>

カササギは、七夕の夜、彦星と織姫が天の川を渡って会えるよう川に橋を架けた鳥といわれています。この伝説にちなんで、紀の川市の2つの図書館、河北図書館「ひこぼし」と河南図書館「おりひめ」から市民のみなさまの元へ本を届ける橋渡しとなるように「かささぎ」の愛称が市民公募の結果選ばれました。

市民のスポーツ・健康の拠点づくり

紀の川市民公園の管理・運営に指定管理者制度を導入し、民間企業のノウハウを最大限活用しながら、市民のスポーツ・健康づくりの拠点となる「スポーツパーク」づくりを進め、より質の高い市民サービスを提供します。

1 「スポーツパーク」運営スタート **新** 99,000千円 <生涯スポーツ課>

- 市民公園内施設の管理・運営を民間企業に全面委託

指定管理者の名称：きのかわスポーツライフ創造パートナーズ
 ※スポーツ用品メーカー「ミズノ株式会社」を中心にした共同企業体

- 「ミズノ株式会社」がもつ運営ノウハウを活かし、市民の「スポーツ・健康の拠点づくり」をスタート

- **新サービスの提供**

トレーナーを配置した**トレーニングルーム新設**のほか、**スポーツ用品の販売**や**備品レンタル**を新たに開始

- **利用促進**

休館日を減らし**稼働日数を拡大**、多世代に対応した各種教室・大会や地域交流イベント等の開催により施設の利用を促進



新規就農者の育成・確保

本市の主要産業である農業を中心とする地域経済の活性化を図るため、JAをはじめとする関係団体等と連携し、担い手となる新規就農者の育成・確保を進めます。

1 紀の川アグリカレッジの開講 **新** 7,992千円＜農林振興課＞

●令和2年度から準備を進めてきた受入体制が整い、令和4年度から「アグリカレッジ」を開講し、新規就農者を手厚くサポート

本格稼働

＜令和4年度：3年目＞

- ▶アグリカレッジ（第1期生）の活動開始
→研修カリキュラム（座学）実施
→実地研修の実施
- ▶アグリカレッジ（第2期生）の募集

＜令和3年度：2年目＞

- ▶受入団体（協議会等）を立ち上げ
- ▶新規就農者向けホームページを作成
- ▶アグリカレッジ（第1期生）の募集
→イベント出展・情報発信
→市内での体験研修の実施

＜令和2年度：1年目＞

- ▶新規就農プログラム（研修カリキュラム）を策定
- ▶JA・地域農家等との連携体制構築（実習先農家の選定）
- ▶栽培マニュアル等の作成

受入体制の整備



紀の川アグリカレッジ

●研修期間：1年または2年

＜1年コース＞

農業経験者・親元就農を目指す農家向け
⇒イチゴの栽培技術を習得する実習

＜2年コース＞

農業未経験者向け
⇒新規就農に必要な農業や経営知識に関する座学研修
⇒イチゴの栽培技術を習得する実習

●実習場所：紀の川市内のイチゴ農家

●資金サポート：180万円/人
（国・県の支援制度活用）





③産業・交流（交流と活気が生まれるまち ～ともに生きがいを持とう～）

新たな加工商品開発の促進

市内の生産者と全国のクリエイターが共に商品企画を行い、コンテストにより選ばれた企画を商品化に導く取組により、本市のフルーツをはじめとする地域資源を活用した魅力ある加工商品開発を促進させ、地域の新たな価値を生み出します。

1 加工商品開発コンテストの開催 **拡** 19,914千円 <農林振興課>

令和3年度

- | | | |
|-----|--|-------------------------------------|
| 企画① | 「国内初！液体ハーブ調味料を販売したい！」
ハーブ農家
「米もと農園」 | プロダクトデザイナー・ビジネスプロデューサー
清水 寛 |
| 企画② | 「自然栽培・天日干しの黒米を使ったもちもち黒米餃子の開発」
黒米農家
「かたやま農園」 | クリエイティブディレクター・コピーライター
石本 香緒理 |
| 企画③ | 「綺麗な色を保った無添加キウイピューレを使ったキウイ商品の開発」
果樹農家
「八旗農園」 | クリエイティブディレクター・広告プランナー・MV監督
山本 広司 |
| 企画④ | 「穀物好き農家による穀物好きに向けた穀物商品を作りたい！」
穀物農家
「ダイマル農園」 | デザイナー・ディレクター
山内 真一 |

第1回コンテスト事業

コンテスト開催
(2商品を選定)

令和4年度

- 商品化に向けたサポート実施
- 商品を食品展示会等へ出展（食品バイヤー等との商談）
- 認定ブランド立ち上げ（新たに認定ブランドを立ち上げ、販売することで、認知度と販売力のアップを期待）

販売スタート



▲生産者とクリエイターで企画案を検討



▲コンテストに進む生産者とクリエイターのペア

第2回コンテスト事業

4商品に拡大

- 生産者、クリエイター募集
- 生産者とクリエイターのマッチング
- 共創キャンプの実施（商品企画案を創作）

コンテスト開催
(4商品を選定)

③産業・交流（交流と活気生まれるまち ～ともに生きがいを持とう～）

商工業の振興

新たに立地する宿泊施設との連携を図りながら、市内の飲食店等の消費拡大を図る仕組みづくりを進めるなど、市内の商業の活性化につなげます。

1 宿泊施設誘致奨励金 **新** 60,000千円 <商工労働課>

- 令和3年3月に本市との間で進出協定を締結した**ルートイングループ**が**新たにビジネスホテルを建設**するにあたり、「紀の川市宿泊施設の誘致等に関する条例」に基づく奨励金を交付

<奨励金の内訳>

- ① 宿泊施設建築奨励金：30,000千円
(新規建築費用の10%を初回に限り交付。上限30,000千円)
- ② 地域環境保全対策奨励金：30,000千円
(周辺の環境、防災、景観の対策を行う場合に初回に限り交付。上限30,000千円)

県内トップレベル
の奨励金



▲完成予想図（ルートイングループ提供）

2 市内飲食店の支援 1,236千円 <商工労働課>

- 紀の川市内の飲食店を紹介する「**紀の川飯ガイドブック**」を改訂
(新たな掲載店舗を募集し、より多くの飲食店の情報を掲載)
- 改訂したガイドブックは、新たに進出するルートインホテルをはじめ、市内の宿泊施設等に配置することで、**宿泊客を市内の飲食店へと誘導**

<紀の川飯プロジェクト（飲食店支援）のこれまでの取組内容>

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| ▶ 令和2年度 | ▶ 令和3年度 |
| ・HP、Instagram立ち上げ | ・感染症拡大防止対策支援補助制度の創設 |
| ・TAKEOUT参入支援補助制度の創設 | ・「紀の川飯ガイドブック」作成、市内各戸へ配布 |
| ・市庁舎で「晩ごはんの1品テイクアウト」実施 | |



▲改訂する「紀の川飯ガイドブック」



③産業・交流（交流と活気生まれるまち ～ともに生きがいを持とう～）

紀の川はっさくプロジェクトの推進

本市が生産量日本一である「はっさく」のブランド化と、「はっさく」が持つ機能性に着目した加工品等の開発など、新たな付加価値の創出を進めます。

1 「紀の川はっさく」ブランド化の推進 1,848千円＜商工労働課＞

- 「紀の川はっさく」のステッカー作成を進め、出荷箱等への貼付を推進

<参考：これまでの主な取組内容>

- ・「紀の川はっさく」の商標登録
- ・出荷箱への商標印刷
- ・クラフトビール「紀の川はっさくエール」のプロデュース

2 熱中症対策商品の開発支援 **新** 5,000千円＜商工労働課＞

- 「地域産業創出に向けた連携協定」に基づき、**熱中症対策商品の開発**を進める民間事業者（株式会社和環）に対する補助を実施

<参考：これまでの経過>

「学校法人東洋大学」及び「株式会社和環」との3者による「地域産業創出に向けた連携協定」を締結（令和3年3月）

<連携協定の内容>

- (1) 熱中症対策成分の効果実証研究に関すること
- (2) 熱中症対策成分を含む加工商品の開発支援に関すること
- (3) 創出商品による販売スキーム開発に関すること
- (4) モデル事業に関する情報発信や多様な関係者とのネットワーク構築に関すること
- (5) その他、本協定の目的を達成するために必要な事項

はっさくの皮から抽出される「**オーラプテン**」が熱中症予防に効果があるという機能性に着目し、それらを活用した商品の開発及び商品化を進めるプロジェクトに参画





③産業・交流（交流と活気生まれるまち ～ともに生きがいを持とう～）

市内企業の人材確保と市内就職の促進

地域経済の牽引役となる市内企業が多様な人材を確保できるよう支援を進めるとともに、市民が市内企業へと就職するきっかけとなる取組を推進します。

1 企業の認知度向上 **拡** 860千円＜商工労働課＞

- 市内企業の認知度向上を図り、市内就職を促進するため、市内の高校生や中学生を対象に「**立地企業ガイドブック**」を配布
- 従来、近隣の高校や大学の就職担当者に限定し配布していたものを、就職を控える生徒等にも新たに**個別配布**

＜配布対象者＞

- ・市内にある高校の3年生（粉河高校・貴志川高校）
- ・市内の中学2年生（職業体験を実施する生徒）



▲配布する「立地企業ガイドブック」

2 中学生に対するキャリア教育の実施 227千円＜商工労働課＞

- 例年、職場体験を実施している中学生2年生に向けて、市内企業の経営者等を講師に迎え「**キャリア教育**」を実施
- 職場体験を行う前に「働く」意味や心構えなど、将来経験するアルバイトや就職に備え、自分自身の将来ビジョンを描くきっかけづくりとなる場を提供
- 市内企業の認知度向上にもつながり、**市内就職のきっかけづくり**にも期待



▲講義の様子（令和3年度）



③産業・交流（交流と活気生まれるまち ～ともに生きがいを持つ～）

地域経済の活性化対策

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている「市内商業者に対する経営支援」と「市民の生活支援」のため、各種商品券による消費喚起策を実施します。

1 未来応援券の配布 **新** 680,987千円 <商工労働課>

- 市内飲食店や小売店等の経営支援と市民生活の支援をするため、「未来応援券」を配布

1人1万円分！

<概要>

- ・対象者：市民（R4.5.1時点で住民基本台帳に登録がある方）
- ・配布額：1万円分/人
- ・利用可能店舗：市内約300事業所で利用可能

2 商品券事業の支援 17,600千円 <商工労働課>

- 市内の2商工会が合同で実施する「きのかわプレミアム商品券」事業の実施経費を支援

**プレミアム率
10%**

<概要>

- ・対象者：購入希望者
- ・発行総額：1億1千万円
- ・販売単位：500円券×22枚つづり
(1万1千円分の商品券を1万円で販売)
- ・利用可能店舗：市内約350事業所で利用可能

3 **マイナンバーカード普及促進** 地域振興券の配布 97,817千円 <商工労働課>

<概要>

- ・対象者：市民（マイナンバーカードを保有する市民）
- ・対象者数：7,500名

(※すでに令和3年度中に地域振興券を受け取った方を除き、R3.12.24までにマイナンバーカードを申請し、R4.3.31までに受取を完了した方に限る。)

- ・配布額：1万円分/人
- ・利用可能店舗：市内約300事業所で利用可能

<各商品券の利用可能期間>

	R4										R5		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
①未来応援券							利用期間						
②プレミアム商品券 (商工会商品券)				利用期間									
③地域振興券 (C券)			利用期間										

<参考> 上記の①及び③事業は令和3年度中に予算計上済み。繰越により令和4年度に実施するもの



③産業・交流（交流と活気生まれるまち ～ともに生きがいを持とう～）

地域資源を活用した観光振興

コロナ禍で人の移動が制限される中、収束後を見据えた新たな取組を実施し、市内への観光客の誘客と市内周遊に向けた仕組みを構築します。

1 市内周遊観光の促進 **拡** 909千円 <観光振興課>

- 昔なつかしい「チンドン屋」による「**チンドンショー**」「**ガラガラ抽選会**」による集客イベントを開催
- ガラガラ抽選会の景品として、市の特産品のほか、市内飲食店の割引券等を提供し、市内の飲食店や観光スポットを訪れるきっかけを創出し、市内周遊を促進

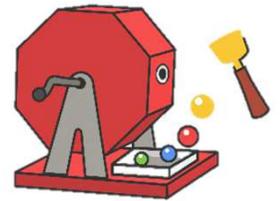
<開催概要>

開催場所：めっけもん広場・青洲の里（予定）

年配者には「懐かしい！」若い世代には「レトロ感！」で集客



チンドンショー



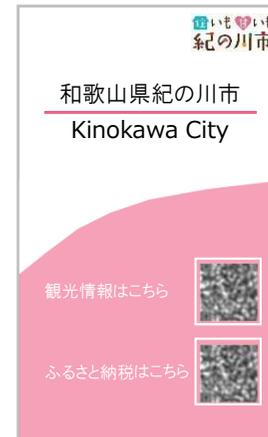
ガラガラ抽選会

イベントをきっかけに市内の観光スポット・飲食店へ誘導

2 観光カードの作成・配布 **新** 142千円 <観光振興課>

- 名刺サイズの「**観光カード**」を作成し、市外等で配布することで、市内への誘客を促進
- コンパクトサイズにすることで、実際に手に取り、持ち帰ってもらいやすくなることから、より多くの方に対する情報発信が可能
- カードを起点として**デジタルの観光情報へと誘導**

●観光カード（イメージ）



専用サイトへ誘導

●専用サイト





京奈和関空連絡道路の整備促進

「京奈和関空連絡道路構想」のさらなる推進と、地域経済の活性化の拠点として、市北部の玄関口となる京奈和自動車道「紀の川インターチェンジ」周辺エリアの土地利用策の検討を進めます。

1 京奈和関空連絡道路の整備促進 2,478千円〈道路河川課〉

- 本市と関西国際空港を結ぶ新たな道路の整備実現に向けた取組を推進

〈主な取組〉

▶整備効果の調査

道路整備によってもたらされる効果等について、和歌山県・大阪府・泉佐野市とともに調査を実施

▶「京奈和関空連絡道路建設促進期成同盟会」による要望活動

参画自治体とともに国や関係機関に対し要望活動を実施

▶フォーラム開催（機運醸成）

当該道路構想の周知と整備に向けた地域の機運醸成を図るため、フォーラムを開催（令和4年度は泉佐野市で実施予定）

2 紀の川IC周辺の土地利用計画策定 14,795千円〈企画経営課〉

- 京奈和関空連絡道路整備を見据え、玄関口となる紀の川インターチェンジ周辺エリアの土地利用を活性化させるための取組を推進
- 令和4年度は令和3年度策定の「紀の川インターチェンジ周辺土地利用構想」に基づき、具体的な土地利用計画を策定

京奈和関空連絡道路

京奈和自動車道「紀の川IC」と阪和自動車道「上之郷IC」を結ぶ新たな高規格道路（延長約10km）



整備に向けて着実に進展

〈直近の動向〉

整備に向けた第一歩として、以下の国・県の計画に当該道路構想が「調査中路線」として位置づけ

- 「和歌山県新広域道路交通計画」（令和3年3月）
- 「近畿ブロック新広域道路交通計画」（令和3年7月）

ごみ収集サービスの充実・効率化

ごみ収集に関する市民サービスの向上を図るとともに、新たな収集拠点を整備することで、効率の良い収集体制の構築を進めます。

① ふれあい収集の実施 **新** 7,946千円 <生活環境課>

- 日常のごみ出しが困難な高齢者や障害者を対象として、職員が玄関先までごみを戸別収集に訪問するサービス「ふれあい収集」を開始
- ごみ収集時に訪問した職員が声掛けなどを行い、日常の安否確認を併せて実施

<対象者>

世帯の全員が右記の区分のいずれかに該当する方

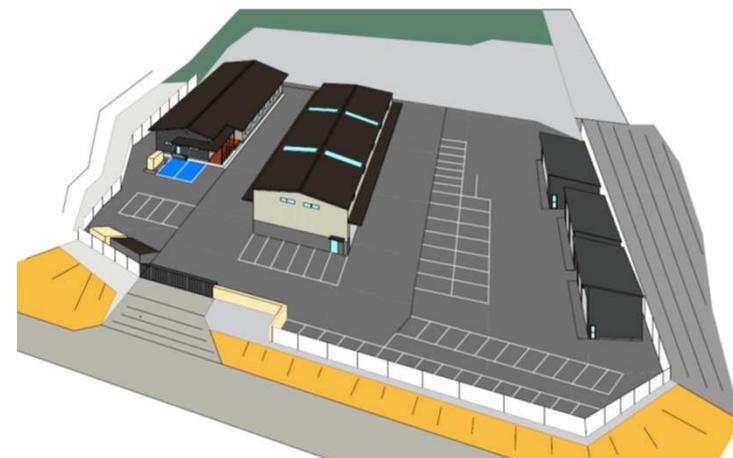
区分	対象要件
介護保険	要介護2以上
身体障害者手帳	視覚障害もしくは肢体不自由の障害程度が1、2級
精神障害者保健福祉手帳	1級
療育手帳	A1、A2

② ごみ収集事務所の整備 80,100千円 <生活環境課>

- ごみ収集業務の効率化を図るため、現在3箇所に分散している「ごみ収集事務所」を1箇所に集約するための整備を実施

<整備概要>

- ・所在地：紀の川市桃山町調月
- ・整備施設：事務所棟、車庫兼災害ごみ仮置場棟、倉庫など
- ・完成予定：令和5年12月（令和6年4月稼働予定）
- ・総事業費：4億4,557万9千円



▲完成予想図



水道水の安定的な供給

安定的に水道水を供給するため、計画的に老朽化した管路や施設の更新を進めます。また、災害時に備えた対策を進めます。

1 管路の整備・更新 335,884千円 <水道工務課>

- 安定的に給水を行えるよう、**基幹管路をはじめとした管路を更新**

<主な整備箇所>

- ・国道24号（佐川～烏子川・延長473m）
⇒災害時の拠点病院となる公立那賀病院へと接続する配水管更新
- ・花野尾崎地区
⇒送水管の布設替に向けた設計業務



▲配管の布設替の様子

2 水道施設・設備の更新 457,487千円 <水道工務課>

- 老朽化した**システムや設備の更新**を実施

<主な整備箇所>

- ・粉河中央監視システム更新
- ・粉河高区配水池更新（配水池500m³を新設）
- ・貴志川浄水場急速ろ過機設置

3 災害対策の推進 15,554千円 <水道工務課>

- 被災時における対応マニュアルとしての「**事業継続計画**」を策定（更新）
- 非常時の停電に対応するため、「**可搬式発電機**」を追加購入（2台）



▲可搬式発電機



市道の整備・充実

通学路を中心とした歩行者の安全確保対策を進めるとともに、適正な維持管理により快適で安全に利用できるよう取組を進めます。

1 主要幹線道路の整備 50,330千円<道路河川課>

- 前年度に引き続き、市役所と県道泉佐野打田線を結ぶ道路の改良工事を実施

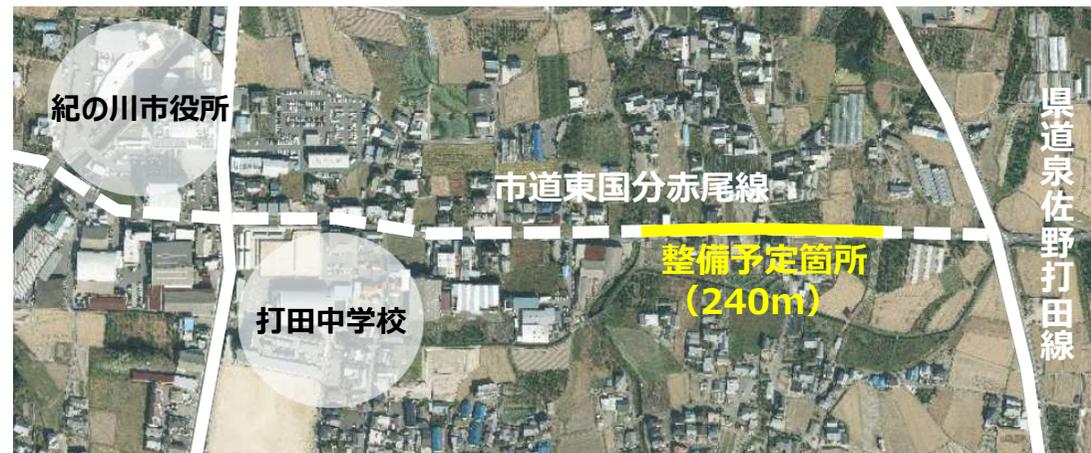
<整備概要>

整備路線：市道東国分赤尾線

整備区間：打田中学校～県道泉佐野打田線

(令和4年度整備延長240m)

整備内容：歩道設置工事



2 市道の適正な維持管理 217,936千円<道路河川課>

- 快適で安全に道路を利用できるよう、自治区等から寄せられる市道の修繕要望等も踏まえながら、**計画的に道路の維持管理**を実施

- 市道等の損傷に迅速に対応するため、市の公式「LINE」アカウントを通じて、市民などから道路の損傷情報を受付

LINEを活用した道路損傷通報サービス



利用しやすい公共交通の構築・維持

公共交通の維持・確保を進めるとともに、市民が利用しやすい公共交通ネットワークの充実を図ります。

1 地域公共交通計画の策定 **新** 3,091千円＜地域創生課＞

- 現行の「地域公共交通網形成計画」の計画期間が令和5年度末で終了するため、**次期計画「地域公共交通計画」を2カ年で策定**
- 次期計画では、従来のバス・電車等の公共交通に加え、必要に応じ、スクールバス、民間病院の送迎サービスなどを盛り込むなど、より**市民の利用実態に即した計画**とする予定
- 令和4年度は、「アンケート調査」や「乗降調査」を実施

2 バスの運行支援 113,342千円＜地域創生課＞

- 市民の移動手段を充実させるため、コミュニティバス等の運行を支援

3 鉄道の運行支援 25,080千円＜地域創生課＞

- 市内を運行するJR和歌山線、和歌山電鐵貴志川線の運行を支援

＜主な支援内容＞

- ・JR和歌山線
周辺自治体とともに「和歌山線活性化検討委員会」へ参画
- ・和歌山電鐵貴志川線
県・和歌山市とともに、設備修繕に対する補助を実施

地域公共交通計画のイメージ

公共交通機関



市民の利用実態に即した交通をデザイン



▲関係団体・近畿大学との連携による乗降客調査（和歌山電鐵）



自治体DXの推進

民間企業からデジタル人材の派遣を受けて、さらなる自治体DXの取組を推進します。また行政手続のデジタル化で重要となる「マイナンバーカード」の取得促進を進めるとともに、全国7位（特別区・市）の高い取得率を基盤に、オンライン申請の利用促進を図ります。

1 デジタル人材の配置 **新** 5,600千円<企画経営課>

- 民間企業からデジタル人材の派遣を受入、自治体DXの取組をさらに推進
- 人材受入に関して総務省の「地域活性化起業人制度」を活用

2 マイナンバーカードの取得促進 41,403千円<企画経営課>

- 庁舎外での出張申請を実施し、市民がカードを申請しやすい環境づくりを進めるなど、全国トップの取得率を目指し取組を推進
- マイナポイントに関する申込や相談が行えるマイナポイント専用窓口を市庁舎1階に開設

3 オンライン申請の利用促進 2,520千円<企画経営課> ※再掲

- 全国でも高い水準にあるマイナンバーカード取得率を基盤としてマイナンバーカードを利用した証明書オンライン申請システムのさらなる利用を促進
- 住民票や戸籍抄謄本など7種類の証明書の申請が可能

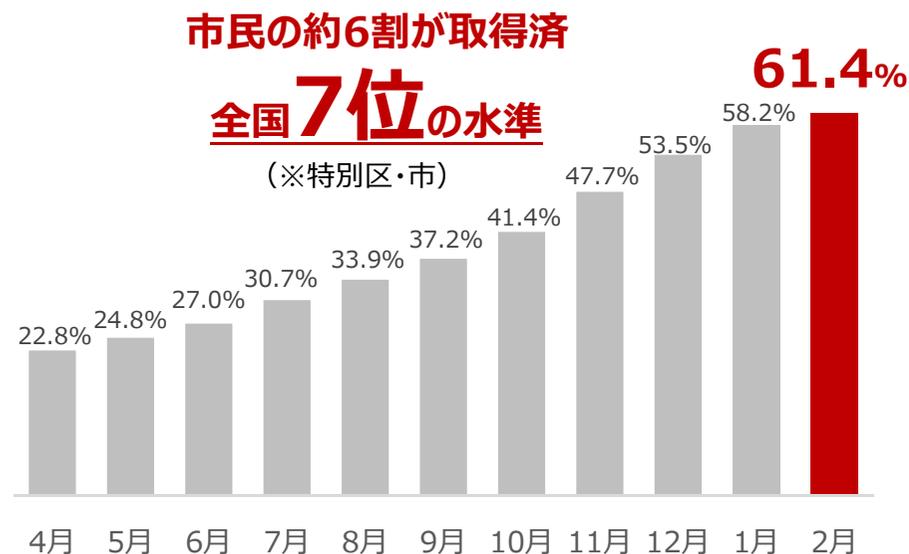
4 公共施設予約システム 3,003千円<生涯スポーツ課> ※再掲

- スポーツ施設や生涯学習施設などの利用予約をオンラインで行うことができるシステムの運用を開始



▲ワクチン接種会場での出張申請ブース（令和3年度）

<本市のマイナンバーカード取得率直近の推移>





シティプロモーションの推進

市の地域資源等を活用したPRや本市の住環境や定住施策を一体としたシティプロモーション活動を展開することで、「交流人口」の拡大とともに、将来の定住者となりえる「関係人口」や、移住者をはじめとした「定住人口」の拡大につながる取組を推進します。

① シティプロモーションの実施 11,523千円 <地域創生課>

●新ポータルサイト（情報発信局）の活用

シティプロモーション専用のポータルサイトを活用し、紀の川市の「ヒト」「マチ」「モノ」「暮らし」を情報として顕在化させるとともに、市民・市内事業者などが情報発信できる仕組みを構築

▶「紀の川style」の発信

市民もしくは市内事業者が取り組むプロジェクトなどを取材し、紹介

▶「まちの掲示板」の利用促進

市民や事業者が地図情報と連携したイベント情報等の発信ができる掲示板を作成し、市内のイベント情報等の一元化、見える化を実現

●フルーツを活かしたSDGsの取組をPR

市場に出ない規格外のフルーツや、加工で発生する廃棄物等を利用したSDGsにつながる取組を推進

●市の施策の効果的なプロモーション

担当課と連携した市の施策の効果的なプロモーションを実施

<シティプロモーションコンセプトロゴ>



2つの視点から市を効果的にプロモーション



豊富な「**フルーツ**」をPR
フルーツをきっかけとした市の認知度向上



良好な「**住環境**」をPR
子育て支援策や定住支援策を一体でPR

「**知ってもらおう**」 ▶ 「**住んでもらおう**」

関係人口の拡大から定住、産業振興へ



地域活性化の推進

市の地域資源等を活かし、市民、地域、大学、事業者等との連携により、地域の活性化につながる取組を推進します。

1 ふるさと納税の推進 517,481千円 <地域創生課>

- 市内の返礼品取扱事業者の収益拡大につなげるため、ふるさと納税の取組をさらに強化
- 市内事業者との連携を図り、**新たな返礼品の発掘**と、**効果的なPR**を実施
- 新たな納税ポータルサイトの開設を行ったことや、返礼品の品揃えを充実させたことにより、近年、**寄附額は大幅に増加**

<ふるさと納税寄附額の推移>

※令和3年度は12月末時点



2 大学連携の推進 295千円 <地域創生課>

- 市内に立地する近畿大学と平成28年度に締結した「包括連携に関する協定」に基づき、**各分野での連携事業を実施**

<連携事業の一例>

- ▶市内企業の見学支援
学生の学習意欲の向上につなげるため、市内企業の見学を支援
- ▶緑色凝灰岩が農作物の生育状況に与える影響を調査
市内のイチジク、桃、高設砂栽培（野菜）の農家と連携し、生育状況の調査に協力



▲市内企業見学の様子（令和3年度）



⑤地域づくり・行政経営（健全で自立したまち ～ともに参加しよう～）

定住人口増加策の推進

人口減少対策として、紀の川市へ人を呼び込み、定住してもらうための支援を充実させます。

1 給食費完全無償化の実施 **新** <教育総務課>

<実施概要>

- 対象者：市立小中学校に就学する児童生徒（所得制限無し）
- 実施期間：令和4年度～8年度（5年間）

県内9市では
初の取組

<参考> 県内市町村で給食費**完全無償化**を実施している自治体
紀美野町・高野町・すさみ町・太地町・古座川町・北山村 の6町村のみ



フルーツ給食は引き続き実施！

▲フルーツ給食（チキンの八朔マーマレード焼き）

2 住宅取得奨励金制度 80,563千円 <地域創生課>

県内トップレベル
の奨励額

- 「45歳未満」の住宅取得者（新築・中古）を対象に「30万円」を交付
- 「転入者」「中学生以下の子どもがいる」場合はそれぞれ「10万円」を加算

区分	要件	奨励額
基本	新築もしくは中古物件を取得する場合	30万円
加算	転入前1年間に本市の住民基本台帳に登録がない人がいる場合	10万円
	中学生以下の子どもがいる場合	10万円





⑤地域づくり・行政経営（健全で自立したまち ～ともに参加しよう～）

移住支援策の充実

新型コロナウイルスの感染拡大を機に地方移住への関心が高まっていることを受け、移住者向けの支援策を充実させます。

1 移住施策の推進 **拡** 18,292千円 <地域創生課>

● 移住施策の情報発信強化

- ・従来のホームページでの情報発信に加え、民間の広告媒体を活用し、移住施策を積極的にPR

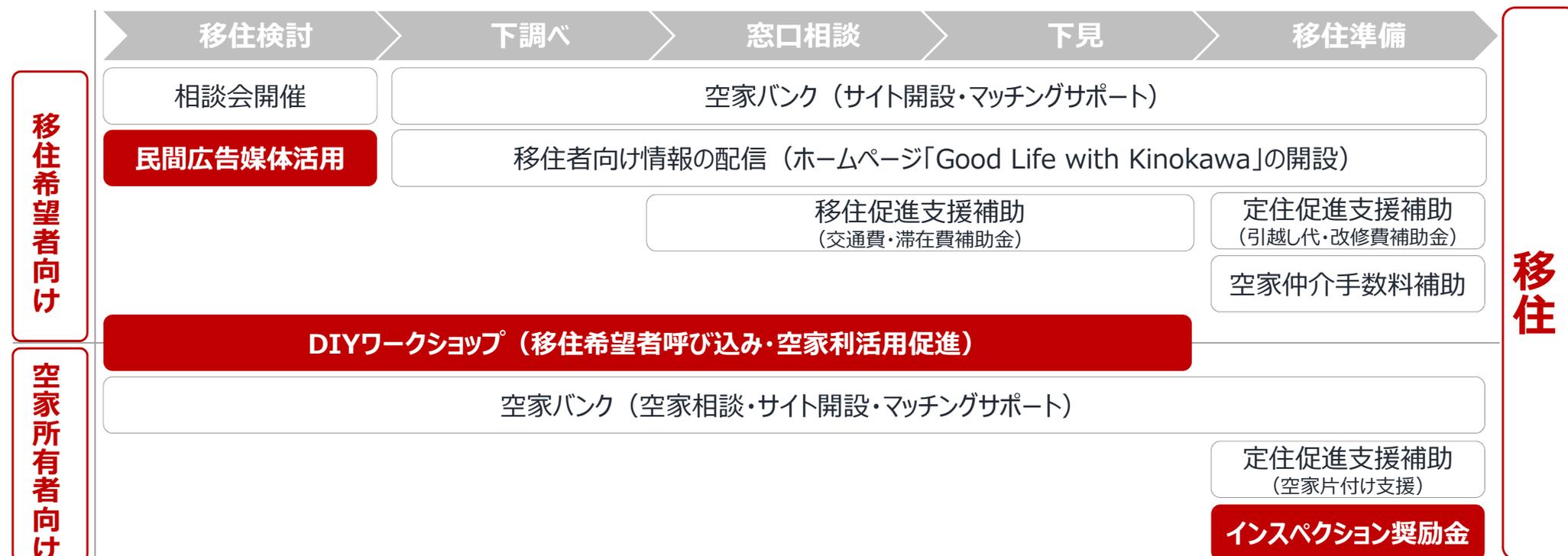
● 空家のDIYワークショップ開催

- ・空家を活用したDIYワークショップを契機として、移住者の獲得を目指します。
- ・2回実施（各回定員20名）

● インспекション奨励金の交付

- ・空家バンクを通じた空家の流通を促進するために既存住宅状況調査（インспекション）の実施を行った場合に交付
- ・1棟につき3万円を上限として交付

<市の各種移住施策>



※赤色の取組については、令和4年度から新たに拡充する取組

将来を見据えた行政経営の推進

将来を見据え、効率的・効果的な質の高い行政サービスの提供に必要な計画づくりや対策を進めます。

① 長期総合計画（後期基本計画）の策定 3,855千円＜企画経営課＞

- 令和3年度に引き続き、令和5年度を始期とする長期総合計画（後期基本計画）の策定業務を継続
- 令和4年度については、外部委員による審議会を計7回開催予定

② 鞆淵地区公共施設の再編整備 68,277千円＜公共施設マネジメント課＞

- 鞆淵地区に現在、点在している「出張所」「診療所」「消防器具庫」を同一敷地内に集約するための整備を実施
- 行政・医療・消防に関する拠点が一箇所に集約されることで、周辺地区住民の利便性と安全性が向上

＜整備概要＞

- スケジュール：令和4～5年度 土地造成
令和6～7年度 建築（令和8年1月完成予定）
- 総事業費：約6億7,000万円



▲完成予想図